

科目名	教育課程論			ナンバリング	EDU164	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	集中(後期)	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	吉富芳正	担当教員					

授業の概要	教育課程の意義、関係法令、教育課程の変遷、学習指導要領の特徴、学習指導要領を踏まえた教育課程の編成・実施のポイント、教育課程に関する基礎的な理論、カリキュラム・マネジメントなどについて考えながら学び、学校組織の一員として教育課程の編成・実施に主体的に参画・協働するために必要な知識と能力を身に付けることを目的とする。						
到達目標	①教育課程の意義や教育課程の基準の必要性などについて説明できる。 ②教育課程に関する法令や学習指導要領の特徴について説明できる。 ③学習指導要領総則を踏まえ学校での教育課程の編成・実施のポイントについて説明できる。 ④教育課程の編成・実施に関わる基礎的な理論について説明できる。 ⑤教育課程の変遷(各時代の学習指導要領の特徴等)について説明できる。 ⑥カリキュラム・マネジメントについてその考え方や重要性について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	教育課程に関する知識や能力は教員として不可欠であるとともに、学習指導要領や評価は教員採用試験に頻出する分野です。計画的に予習を行って授業に臨むとともに、受講後も復習をし学修成果をまとめるなどして自分の知識と能力を高めるようにしてください。また、学修の対象が広いこと、全体像の把握に努め、いま学んでいることが全体のどこに位置づくのかを常に意識しておくことや、学習内容を他科目の内容や自分の経験と関連付け、学校現場での生かし方を具体的に考えること、法令については法令集で条文を確認することなどが大切です。						
ディプロマポリシーとの関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
教育課程の意義や教育課程の基準の必要性、関係法令や学習指導要領の特徴、教育課程の編成・実施の考え方や配慮事項、基礎的な理論、教育課程の変遷、カリキュラム・マネジメントについて、主なキーワードを挙げそれらのポイントをおおよそ説明できる。	教育課程の意義や教育課程の基準の必要性、関係法令や学習指導要領の特徴、教育課程の編成・実施の考え方や配慮事項、基礎的な理論、教育課程の変遷、カリキュラム・マネジメントについて、全体像を構造的にとらえるとともに、法令や現状等を踏まえてそれらのポイントを的確かつ論理的に説明できる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	○						70%
小テスト・授業内レポート	○	○			○		20%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	試験のほか、授業内レポートやワークシートの作成の際には、授業で取り上げた内容について自分の考えの記述を求め、それをもとにより広く調べたり深く思考したりするポイントを提示する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	教育課程論の全体像と学ぶ意義	本科目での学習全体に見通しをもつとともに、本科目を学ぶ意義について考える。	
	第2回	教育課程やカリキュラムの意義、教育課程の基準の必要性	学校教育の基幹となる教育課程やカリキュラムの意義、教育課程の基準の必要性について理解する。	
	第3回	教育課程に関する法令や基準	教育課程に関する法令や基準の構造を理解し、それぞれの規定の趣旨について学ぶ。	
	第4回	教育課程の歴史(戦前)	幕末から明治期以降、終戦までの教育課程の歴史について学ぶ。	
	第5回	教育課程の歴史(戦後)	戦後の教育課程の歴史について学習指導要領の特色をもとに学ぶ。	
	第6回	学習指導要領(平成29・30年改訂)の背景とポイント	学習指導要領の改訂の背景と基本的な考え方や改善事項のポイントについて学ぶ。	
	第7回	教育課程の編成の基本的考え方	学校で教育課程を編成する上での基本的な考え方を学習指導要領の前文と総則をもとに学ぶ。	
	第8回	教育課程の編成(目標の設定と内容の組織)	学校の教育目標の設定と教育内容の組織に関する基本的な事項について学ぶ。	
	第9回	教育課程の編成(授業時数の配当)	学校教育における時間に着目して授業時数をはじめとする基本的な事項について学ぶ。	
	第10回	指導方法や指導体制の工夫改善	新学習指導要領で強調されている主体的・対話的で深い学びをはじめとして、教育課程の実施に関わる指導方法や指導体制の工夫のポイントについて学ぶ。	
	第11回	特別な配慮を必要とする生徒への指導	障害のある生徒をはじめ特別な配慮を必要とする生徒への指導のポイントについて学ぶ。	
	第12回	学習の評価と指導要録	学習の評価の基本的な考え方と指導要録の仕組等について学ぶ。	
	第13回	教育課程に関する理論の基礎	教員として教育課程の編成・実施に携わる上で不可欠な教育課程の基本的な理論について学ぶ。	
	第14回	カリキュラム・マネジメントの考え方と方法	新学習指導要領で強調されているカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方と方法について学ぶ。	
	第15回	教育課程の展望と課題	これからの教育課程の展望と課題について考える。	
	試験	全講義終了後に期末試験(筆記試験)を実施する。試験範囲は全範囲とする。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。2-3回の授業内レポートやワークシート作成を行う。		
授業外学習の指示		配布資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教員に質問すること。余裕があれば、次回の講義に対応する教科書の該当箇所を読み、概要を理解しておく。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	吉富芳正編『現代教育課程入門』明星大学出版部、2019年 このほか、授業で資料を配付する。
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領』、『高等学校学習指導要領』、『中学校学習指導要領解説総則編』『高等学校学習指導要領解説総則編』
参考URLなど	文部科学省ホームページ( <a href="http://www.mext.go.jp/">http://www.mext.go.jp/</a> )
その他	